授業科目名	コーチング演習	単位数	2
担当教員名	與名本 稔、秋澤 一輝	担当形態	オムニバス
実務内容			
(実務家教員の場合)			

「学位授与の方針」との関係

- ・多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの 約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。
- ・個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。
- ・共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。

授業の到達目標及びテーマ

コーチングを行う上で基本となる計画、運営、模範などについて深く学び、現在、抱えている問題を解決しながらさらにコーチングを追求できるようにすることを到達目標とする。

授業の概要

現代社会においてコーチ(指導者)に求められるものは多岐にわたる。目紛しく変化する社会の中でスポーツの占める役割は大きい。また、スポーツ指導者を取り囲む環境も大きく変化している。コーチング論ではスポーツにおける指導者の社会的役割を認識し、その上でコーチ(指導者)の役割と使命を把握する。

授業計画

第1回:スポーツとコーチ(指導者)の現状

第2回:現代社会におけるスポーツ

第3回:現代社会におけるコーチ(指導者)

第4回:我が国のスポーツプロモーション

第5回:理想とされるコーチ(指導者)

第6回:コーチ(指導者)の心構えと視点

第7回: スポーツ参加者の目的 競技力向上を中心にして

第8回: スポーツ参加者の目的 参加志向型を中心にして

第9回: スポーツ参加者の目的 自己達成との関係について

第10回:現代における体罰や暴力等ハラスメントについての検討

第11回:スポーツと心にかかわる諸問題

第12回:動機づけ(モチベーション)とコーチング

第 | 3回:現代社会とスポーツにおける今後の課題

第 | 4回:スポーツ現場における心理的な課題

第 | 5回:コーチ(指導者)の心理的な取り組み

定期試験

スクーリングでの学修内容

スポーツ参加者の目的やスポーツと心などの現代社会とスポーツの関係を読み解いていくこと によって、現代社会に求められるコーチ(指導者)を理解する

(主に第1回~第4回を中心に横断的な内容を含む。)

教科書

なし

参考文献

なし

学生に対する評価

スクーリング評価 (25%)、レポート評価 (25%)、科目修得試験 (50%) を総合して評価する。